平成 28 年５月 11 日

各　　位

会 社 名　　ワ　タ　ミ　株　式　会　社
（コード番号 7522　東証第一部）
代表者名　　代 表 取 締 役 社 長　　清水 邦晃
問合せ先　　取締役経営企画本部長　　小田 剛志
（TEL 03-5737-2784）

業績予想値と実績値との差異、特別損失及び法人税等の計上に関するお知らせ

平成 27 年 11 月 11 日に公表いたしました業績予想と、本日公表の実績につきまして、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。また、下記の通り特別損失及び法人税等を計上することをお知らせいたします。

記

１．平成 28 年３月期通期連結業績予想と実績値との差異（平成２７年４月１日～平成２８年３月３１日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (平成２７年１１月１１日発表)	127,000	0	△800	13,000	348 円 10 銭
今回発表業績(B)	128,246	△290	△1,132	7,810	209 円 13 銭
増減額(Ｂ－Ａ)	1,246	△290	△332	△5,189	―
増減率(%)	＋0.9	―	―	△39.9	―
＜ご参考＞前期実績 (平成２７年３月期)	155,310	△2,072	△3,406	△12,857	△344 円 31 銭

【差異の理由】

当連結会計年度においては、国内外食事業の売上高は概ね計画通りに推移しましたが、2015 年度下期の重点施策である原価改善等の一部コスト削減が想定通りに進まなかったこと、収益の要である宅食事業においては 16 年１月の大雪や積雪予報の影響を受けたことにより食数が大幅に計画を下回り、またその後の食数回復に遅れがでたこと等により、連結営業利益及び連結経常損失が予想を下回る結果となりました。また、下記「２．特別損失及び法人税等の計上について」に記載の通り、特別損失及び法人税等の計上を行ったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を大きく下回る 78.1 億円で着地する結果となりました。これらにより、上記差異となりました。

なお、平成 27 年 11 月 24 日に「配当予想の修正（復配）及び株主優待制度の変更に関するお知らせ」で公表した期末配当計画（１株当たり 10 円の復配）に関しては、修正はございません。

２．特別損失及び法人税等の計上について

当連結会計年度においては、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、閉店の意思決定を行った国内外の外食店舗及び収益性の低下により固定資産の減損対象となった国内外の外食店舗、宅食事業の営業所施設、工場施設等について減損処理を実施し、2015 年度下期に 31.2 億円の追加計上となる、36.4 億円の減損損失の計上を行います。

また、介護事業売却にかかる所得について繰越欠損金の控除適用外の法人税等負担が発生したこと等により、2015 年度下期に 28.7 億円の追加計上となる、22.1 億円の法人税等の計上を行います。

以　　上